



## 東北支援へ!

～私たちが今できること～

### ■岩手県陸前高田市を視察

5月26日、選挙後初めて東日本大震災の被災地へ足を運んだ。これは、全国若手市長会の呼びかけにより、陸前高田市を訪れ、被災状況や避難生活、復興へ向けた取り組みなど視察した。



現地で多くの人たちの話を伺い、以下の点について感じた。

- ①再建したくても土地利用の安全性が担保できない。
- ②普通の生活ができない。仕事がない。
- ③人口の流失により町が保てない。



### ■二回目の訪問 ～街づくりイベントへの参加～

8月27・28日と陸前高田市で行われた復興街づくりイベントへ参加した。前回の訪問で出会った居酒屋“和民”チェーンの渡辺美樹会長がこのイベントの実行委員長となり、3月11日から商(あきな)いが止まっている街にもう一度、売ったり買ったりする喜びを復興させたいとの思いから、このイベントの開催する運びとなったようである。私たちも応援隊として富士宮焼きそばの出店依頼があり、市議会議員有志11人と焼きそば学会4名とで参加しました。



人口2万人の市で、このイベントに1万7千人が来場する大盛況となりました。富士宮焼きそば1,300食を完売し、売上金額の全額を寄付してきました。

### ■被災地での出会いから発展 ～箕面市との災害協定締結～

5月26日の陸前高田市の視察の際に『富士宮市さんですね!災害応援協定を結びたいのですが』と声をかけられました。話をすれば、大阪府箕面市の倉田市長さんでした。人口、財政規模も同じくらいで、内陸都市で距離も丁度良く離れていると言うのです。早速6月定例会での一般質問でこの話を提案し8月24日に協定が締結されました。



### ■日系ブラジル人と 被災地の橋渡し

9月2日に日系ブラジル人が父母の祖国のために、自分たちの生活費を切り詰め被災地へ寄付をしたいとの相談があり、お付き合いのある陸前高田市へ贈呈しました。富士地区の派遣会社で働く日系人が30万円、会社が70万円で計100万円を陸前高田市の戸羽市長に手渡しました。





## 定例会 一般質問

### 6月定例会

#### ～須藤新市長の市政運営について～

**望月:**市長の掲げられた公約及び方針とこれまでの市の計画との関係は？

**市長:**これまでの計画と私の方針はかけ離れているものではない、行政の継続性の原則から市政運営にこそがける。しかし為政者である以上自らの公約や政策の実現に目指していく。

**望月:**財政健全化路線はどのようにしていくのか？

**市長:**健全化により将来に向けた財政基盤は整った。将来への負担を考慮しながら、社会資本整備や安心して子供を産み育てる環境を整えることが重要。プラス思考の財政健全化をしていきたい。

### 9月定例会

#### ～水源林の保全に向けて～

**望月:**水源林の53.3%が民有林であり、転売や土地利用のリスク回避はできているのか？

**部長:**様々な法令等で規制されている。最近法改正があり、土地の転売では報告制をとっている。

**望月:**最近外資系の企業が日本の山林を買っているようだが、これらの法律で(報告制)リスクが回避できるのか？

**部長:**中々難しい部分があると思う。



## 平成22年度 決算審査

- ①芝川町のとの合併効果について → 地方交付税が4倍
- ②財政健全化の最終年度 → 約22億円の繰越金と財政調整基金約32億円
- ③子供たちへの対策 → 新型インフルエンザや三種ワクチン接種の対応などの点について質疑や議論を交わした。

## 後援会行事

### 後援会 総会

5月21日にパテオンにて後援会総会を開催しました。この一年間の後援会活動の総括と当選の報告を行い、今後の活動方針を示しました。2部として懇親会を開催し約250名の支援者と懇親を深めました。

### 後援会 旅行

7月24・27日と2日間後援会旅行を行いました。約240名の支援者と共に、東京ドイツ村と巣鴨とげぬき地蔵へ行ってきました。



## ◆◆◆◆◆ 望月芳将 プロフィール ◆◆◆◆◆

S52.8.12 生まれ  
大宮小、二中、富士宮北高卒  
平成12年帝京大学理工学部卒業  
富士宮にて就職し、青年活動やNPO活動に積極的に参加  
H19.4 富士宮市議会議員初当選 29歳  
H20.5 富士宮市議会 議会運営副委員長  
H22.5 富士宮市議会 環境厚生委員会委員長  
H23.2 富士宮市議会 予算審査特別委員長

## 創意・挑戦

趣味はのんびりと温泉浴

